

報道関係者各位

2022年11月11日（金）  
株式会社明電舎

## LGBTQ+理解促進への取組みの評価指標 「PRIDE 指標 2022」において最高評価のゴールドを取得

この度、株式会社明電舎（代表取締役 執行役員社長：三井田 健/東京都品川区、以下明電舎）は、任意団体「work with Pride」（以下、wwP）が策定した LGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティ（以下、LGBTQ+）理解促進への取組みの評価指標「PRIDE 指標 2022」において、最高評価のゴールドを取得しましたので、お知らせいたします。

work with Pride



「PRIDE 指標」は wwP が目指す「企業・団体等の枠組みを超えて LGBTQ+ が働きやすい職場づくりを日本で実現する」ことを目的に策定した指標で、5つの評価指標で構成されています。

1. Policy (行動宣言)
2. Representation (当事者コミュニティ)
3. Inspiration (啓発活動)
4. Development (人事制度・プログラム)
5. Engagement/Empowerment (社会貢献・渉外活動)

以上の評価指標に基づいて採点され、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の3段階で評価されます。明電舎の「PRIDE 指標」ゴールド取得は今回が初めてとなります。

明電グループでは、セクシュアルマイノリティ（LGBTQ）の方々への理解促進に関する基本方針を設けています。

### 【LGBTQ 理解促進の基本方針】

LGBTQ の人々を「正しく理解すること」を掲げ、誰もが自分の性や「自分らしさ」を尊重され、従業員一人ひとりが最大限の能力を発揮し、活躍できる環境づくりを推進していきます。

明電グループは LGBTQ 理解促進の取組みとして、明電グループ人権方針の発行や、採用エントリーシートの性別欄の廃止、LGBTQ 基礎教育の実施、LGBTQ 相談窓口の設置などを行っています。2022年10月には、新たに明電パートナーシップ制度を追加し、事実婚（同性間を含む）を法律婚と同様に扱うこと、戸籍上の性とは別に自認する性へ変更することを可能にしました。

また、株式会社 アウト・ジャパン様主催の LGBT-Ally プロジェクト<sup>※1</sup>に参画し、LGBTQ 取組み内容の紹介や各地のプライドイベントへのバナー広告協賛を行うなど、社外にも活動を広げています。

今後も明電グループは、多様な性についての正しい知識と理解を広げ、性的指向及び性自認を理由とする偏見・差別とハラスメントの防止を徹底することで、LGBTQの方を含む全社員が、生き生きと能力を発揮できる職場風土の醸成を継続して行ってまいります。

※当社のダイバーシティ経営の取組み内容や諸制度の詳細は、明電舎ウェブサイト内 CSR「ダイバーシティ経営の推進」をご覧ください。

<https://meidensha.disclosure.site/ja/themes/97>

※1「Anyone Can Be An Ally」をテーマにひとりでも多くのアライを増やすことを目指すプロジェクト。

以 上